

子どもの医療費は助成されます

町では、乳幼児等が病院などで診療を受けたときの医療費を助成しています。助成を受けるためには、受給者証の交付申請手続きが必要です。

※小学生のお子さんは、入院のみの助成となりますので、入院されるときに申請をしてください。

※小学生のお子さんは、所得制限などにより助成を受けられない場合がありますので、詳しくは、左記までお問い合わせください。

【申請に必要なもの】

- ・お子さんの健康保険証
- ・印鑑
- ・転入された方は、前住所地の市区町村発行の「所得・課税証明書」が必要となる場合があります。

【申請・問い合わせ先】

- ・住民生活課国民健康保険係
☎0137-62-2112
- ・熊石総合支所住民サービス課
☎01398-2-3111
- ・落部支所
☎0137-67-2231



【自己負担一覧表】

区分	自己負担額	
未就学児	自己負担なし(所得制限なし)	
小学生	非課税世帯	初診時一部負担金を負担(入院のみ)
	課税世帯	かかった医療費の1割を負担(入院のみ・上限あり)

協力隊 奮闘日記

協力隊と町民の情報交換



新年度がスタートし、既に4月1日より八雲町地域おこし協力隊は新しく2名が入隊し現在4名で活動を開始しております

・富澤 祐二(41歳)

数年前より札幌市からの移住を希望しており、このたび八雲町への移住が叶いました。1日も早く八雲町での生活に慣れていきたいと考えています。アウトドアや自然体験活動、本を読むことやコーヒーを淹れることなどが趣味です。趣味を通じて、また新しいことを通じて、1人でも多くの方とお知り合いになりたいです。どうぞよろしくお願いたします。

・小澤 玄周(24歳)

私は八雲町出身で、高校卒業後から八雲町を離れて生活をしていました。地元から離れて生活していた中で、「もっと多くの人に八雲町を知ってもらいたい」と強く感じるようになりました。そんな時に八雲町地域おこし協力隊員の活動をSNSで見て、

その活動に魅力を感じ、自分も地域おこし協力隊として活動するために八雲町に戻ることと決意しました。これからは協力隊員として八雲町の課題である「人口減少・各産業の担い手不足」といった課題解決のためにも八雲町を盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

今後は2年目の活動となります。佐藤佑樹、大野仁世と4名で活動して参りますので今後ともよろしくお願いたします。

リアルタイムの情報は、Facebook・Twitter・Instagram、ホームページ、Line@発信@つよま。p。
 ○Facebook:@cok-yakumo
 ○Twitter:@yakumo_kyoryoku
 ○Instagram:yakumochi_kyoryokutai
 ○Line@:@ute0356s
 ○ホームページ:https://ameblo.jp/yakumochi-kyoryokutai/
【問い合わせ先】
 Loughno(ふんむ)
 ☎0137-66-5234

「おもいやりカフェ」を開店します



もの忘れや障がいのある、年齢・性別を問わず、どなたでも来店できる地域のカフェです。お友達同士はもちろん、介護や子育てをしている方同士で交流する場としてもご利用いただけます。お子さまやお孫さんも一緒に、お気軽にお立ち寄りください。

【場所】

はぴあ八雲 1階研修室

【時間】

午後1時30分～3時

【日程】

「5月」5月9日(水)

「6月」6月13日(水)

※毎月第2水曜日(祝祭日・会場使用不可の際は第1水曜日)

【内容】

ミニレクリエーション、交流茶話会、手芸作品などの展示

【問い合わせ先】

保健福祉課包括支援係
 (シルバークラザ内)
 ☎0137-65-5001